

ようこそホームへ！

早大本庄学院へのご入学、おめでとうございます！そして、我らがホームへようこそ。みなさんを一同で歓迎いたします。これは、みなさんがスムーズにホーム生活を始められるために、入居生が作ったパンフレットです。どうぞ、熟読してください。

引越編

みなさんはこれからそれぞれのホームの部屋へ入居(引越し)をするわけですが、部屋には何があればよいのかな？と考えている人もいるでしょう。そこで、以下にとりあへず必要なものをあげてみました。

生活の基本は衣・食・住。それに沿ってみると……

衣・・・洋服、洗濯については後で述べますが、下着、上着と靴が必要です。ホームの各部屋には押入れやタンスが付いていますが、その容量にも限界があるので、家にある服全て持ってくることはムリ。最初はとりあえず春物があれば十分、秋になったら秋物を家から送ってもらえばいいのです。下着については、洗濯の頻度によりますが、すごくモノグサな人で「俺は十日に一度しか洗濯しない」というような場合、12～3枚のパンツと靴下が必要になります(それは極端な話だけど)。平均、みんな3日に一度くらいは洗濯しています(運動部、特に野球部やラグビー部などに入ると洗濯が大変)。あと雨が降るのでレインコートがあるといいかも(カサさして自転車に乗って登校するのは・・・違法行為！)

それから夜寝るためのパジャマ、廊下や食堂で履くスリッパが必要。スリッパについてはホームで指定されることもあるかもしれないのでホストさん(これからお世話になる管理人さんのことですよ！)に聞いてから買うといいと思います。ホームにも慣れてくると(男子校に慣れてくると?)私服を毎日取り替えて洗濯するのも面倒になり、ついついガクランで登校してしまう、と言う人も大勢いるので、ガクランを持っている人は校章を付け替えて一着タンスに入れておくとう便利です。

食・・・平日に限って朝・晩の食事はホストさんが作ってくれるので、心配はいりません。昼食も、学院にある学食やパンショップで事足りるので心配ありません。が、日曜の食事は自分で調達しなくてはなりません。日曜の食事を冷凍食品とかレトルト食品とかで済ます人は、ハシやスプーン、皿なんかあったほうがいいです。でも自炊はとても難しい(火を使ってはいけなところが多い)ので、結局みんなレトルトやコンビニのパンや弁当、じゃなければファストフード、カップラーメンなんかホーム生の日曜の主な食生活です(お湯の入ったポットと電子レンジは、たいていいつでも使えます)。平日でも、三食だけでは足りないのいろいろ食べたりしています。テスト前なんかは、夜食を作ってくれるホームもありますよ。

まあ、ティーバッグのお茶やインスタントのコーヒーを飲むためのカップ1個位は、誰でも持っています。

住・・・これがメイン。まず、勉強するための机。ホーム生活の達人になると、こたつで代用してしまう者もいるにはいるけれど、普通は机を持っています。もし、新しく机を買うなら小さくて軽い物がおすすめ。

ホームの部屋も大して広くないので収納テクは重要です。それから椅子が必要です。このへんは当然のラインだと思いますが本棚、ラジカセなんかも置ける大きめのラックがあると便利。ちなみに英語のリーダーやLLの授業でリスニングテープを聞くようにいわれるので、カセットプレーヤーは必須(言わなくても持ってこない奴はそういないと思うけど)。それから、洗濯関係。カゴ、洗剤、洗濯物ハンガーが必要です。

あとは洗面用具(ドライヤー、ヘアブラシ、歯磨粉、歯ブラシ、洗面器、石鹸、シャンプー・リンス、タオル、バスタオル)、鏡、時計(掛時計は壁に穴を開けられない場合はおすすめできません。ホストさんに聞きましょう)、目覚まし時計(一人で起きるんだよ)、ゴミ箱とゴミ袋(スーパーなんかの袋を溜めておこう)、ゴミの出し方はホームによってまちまちなので、入居してから確認する。あとは、いちばん最初に敷くカーペット。運がいいと、前の住人がのこしていったカーペットがそのまま残ってたりもするので利用できる。部屋は大体六畳の所が多いけど、何も六畳のカーペットを買うことはありません。ベッドの配置なんかを考えて(ベッドの下にカーペットを敷く必要はないでしょう)必要な広さのものを買いください。カーペットが必要ないところもあるけれど、「キズがつくから」とカーペットを必須としているホームが多いです。それから、ドアが内開きか外開きかで大きく違ってくる(ドアが内開きの場合、カーペットを隅まで敷くとドアが開かなくなることがある)ので気をつけてください。それから、カーテンが必要です。カーテンは、窓が曇りガラスの場合は遮光カーテン一枚で十分ですが、そうでない場合はレースのカーテンもあったほうがいいでしょう。窓の大きさを測ってから買いましょう(普通は1間の窓が1つですが、角部屋などは窓が2つあることもあります)。最後に、布団、掛け布団、掛け毛布、まくら、シーツがあれば、とりあえず平気です。

以上、これだけあれば、生活はできます。

普通は、みんないろいろもっとモノは持ってます。例えば、音楽選択の場合「演奏試験」というテストがあり、一人ずつステージ上で何か楽器を弾かされたり歌を歌わせられたりしますが、その練習のためにギターを持ち込んだり（軽音部に入る人も）中には電子ピアノを持ってきている人もいます（ピアノの上手なやつはたくさんいる）。他の人に迷惑のかかるものと、火災の危険性のあるもの（炊飯器や電熱器とかアイロン、電気ポットみたいなもの）。直接火をつけて使うもの（蚊取り線香、お香などは特に厳禁）。でなければ、何を持ち込んでもかまわないことになっています。テレビやテレビゲームについても、特に制限はないので、どうしても、という人は持ち込んでもよいと思うけれど、テレビの場合、自分の見たいものはたいていみんな見たいことが多く、共同のテレビだけで用は済んでしまう人も多いでしょう。みんなが『金八先生』見ているときに「俺はどうしてもNHKの人間ドキュメントが見たいんだ - 」という人は、テレビを持ち込んでください（そんな人はあまりいないと思うが）。それから、部屋にキューブとかPS2とかある場合、そこはおそらく『溜まり場』と化す危険性を秘めています。悪いことではないのですが、ちょっと鬱陶しくなるかも……。ほかに、あると便利なのはWETティッシュ。雑巾がわりに使えます。それからベッドの下は重要な収納スペース。衣装ケースを置いとくと便利です。ベッドが低い場合は、コンクリートブロックを買ってきてベッドを高くしよう（ただし、部屋を明渡すときはコンクリートブロックを取り除いて、必ず元に戻しておくことを忘れないで）。

全ホームがインターネットや電子メールが使える様になりましたが、学院でも（パソコン教室のパソコン40台が放課後開放されていて、自由に使えます）。携帯電話については、持っている人も結構います。

生活編



さて、引越しも滞りなく終わったらいよいよホーム生活の始まり！

入居は、平均的には入学式(8日)の夜からの人が多いと思います。9日は始業式で、夜にはホーム一斉指導が行われます。

まず、いきなり見ず知らずの先輩たちと共同生活を始めるわけだから、当然誰でも不安なものでしょう。

ホームに行く前に（ホームが駅から遠ければ、タクシーで行くとよいでしょう。市内なら千円、美里や上里の場合千三～五百円くらいです。タクシーに乗ったら「ホーム まで」というだけでわかります）。まず、ホストさんに電話で挨拶しましょう。「何日の何時頃いきますのでよろしくお願いします」。これだけで印象がずいぶん違ってきます。もしかしたら、ホストさんが駅まで迎えに来てくれるかもしれません。ホストさんに直接会って挨拶をしたら、いよいよ部屋に入ります。たいていその場で待っていれば、そのホームの先輩が君の部屋を訪ねてくるでしょう（たいていどのホームにも世話好きがいて、最初は新生を全員集めて自己紹介させる）。そうしたら、生まれ変わった気持ちでしっかり自己紹介しよう！これをうまくやれるかが後々の大きなポイントです。それから、ホームのきまりを先輩やホストさんから聞かされると思うので、しっかり聞くこと。風呂掃除など、新生の役割があるところが多いのです。それから、最初は友達がいなのはホームの新生ならだれでも同じこと。

*これは、かなりシンプルなお例で、みんなもっと物があるけれど、最初は最低限のものから Start して、必要に応じて買い足していくのがかしこいやり方ですね。

同学年の人とは仲良くなっておこう！ 実は同郷だった、なんてことも意外と多い。話しかけてみて突っぱねられることはまずないです。そんなんだったらホームなんて入らないと思う。少なくともこれから一年間共に生活する同学年の人や先輩方とはしっかり関係を築きましょう（言うまでもないことかな）。

それから、新入生の迷いやすいことで始業式の服装があります。先輩に聞けばわかることですが、当然私服で来る人がほとんどなので、私服でも結構。中学時代に制服を毎日着ていたせいか、なぜか始業式の一年生は制服が多い。私服で学校にくることに抵抗があるのかな～。あと、学校への道順は、初日に先輩が連れていってくれるだろうと思うので、その日はしっかり道を覚えよう。道に迷って遅刻した人、割とたくさんいます。

朝、しっかり起きられない人は、後で地獄をみます。モーニングコール当番を決めているホームもあるけれど、それに頼っちゃダメ！ 新生活が楽しくて、つい夜更かししちゃうかもしれないけれど、しっかり朝は一人で起きましょ。起きた後、ご飯の配膳も、ホストさんがやるところ、自分でやるところといういろいろあります。そのホームのやり方に慣れましょ。

冷蔵庫や洗濯機、掃除機（掃除機は個人で持っている人もいる）使用のきまりもあるかもしれませんが。聞いとくべし。洗濯は、ほとんどのホームに全自動洗濯機があるのですが、洗濯のやり方知らない人…いないよね。

干す場所も、外に干す場合、ベランダなどホームによって様々（雨の日なんかには、部屋につっぱり棒があるとすごく便利）。とにかく、わからないことがあったら、ホストさんや先輩に聞くといいでしょう。聞いたからといって怒られることはありません。安心してください。

生活全般について、ホストさんは皆さんの「親がわり」となってくださいます。本当にちょっとしたことで声をかけてみてください。例えば僕の場合、「服のボタンとれちゃった～どうしよう、俺ボタンつけなんかできないし～」という時にホストさんがわざわざボタンをつけてくれました（感謝！）。病気のときは看病してくれたり、自転車がこげない（骨折しちゃった！とか）ときは送迎してくれたりします。重い荷物を運ぶときに車を出してくれたりもします。いろいろ気を遣ってくれるのがホストさんです。だからみなさんは何の心配もなくホーム生活を始められることでしょう（特別にお世話になったらお礼を言うことを忘れずに！）。それから、生活を始めると、ついつい部屋が汚れてしまうかもしれません。しっかり自分で掃除ましょ。壁や床を汚したりすると、ホストさんにも迷惑がかかります。

日曜の食事や普段の買い物など、市内を知り尽くした先輩はいろいろ教えてくれると思います。何か買い物をしたかったら、ホームリーダー（各ホームの二・三年生の誰かが、リーダー役をしています）に聞いてみてください。きっといいお店を教えてもらえるでしょう。

データ編 Q & A コーナー

Q： ホームに入ってみんな勉強しているんですか？

A： していません（笑）。なんてのはうそです。でも、ホーム生に限らず、早大本庄生はなぜか追い込み型で、テスト前までなにもやらない人もいます。そのかわり、そういう人はテスト前にホームでは修羅場と化し、過去問とノートのコピーを手にして眼を赤くした男の闘いがくりひろげられます（多少誇張してあります）。ちゃんと勉強しないと進級できないよ！

Q：先輩はこわいんですか？

A：（多分）こわくありません。集団生活といっても少人数なので、かなりうちとけた雰囲気ホームが多いと思います。しかし、一応ヨコだけじゃなくタテの関係も大事です。ある程度の上下関係はあると思ってください。ただ、そんなに気を張る必要はありません。

Q：自己紹介はいつすればいいんですか？

A：1～3年生が全員揃うのが、4月10日の夜になるので、多くのホームではその時になると思います。お互いに名前をしっかり覚えてください。最初が大事！ただ、その日より早くからホームにいる人は、ホストさんに頼んで上級生に紹介してもらってください。自分じゃなかなか言えないでしょう。

Q：帰省はどのくらいしているんですか？

A：多い人は毎週末に帰ってます。そして月曜の朝自宅通学（宅通）と、このパターンの繰り返し。でもこれは東京都内の八高沿線や埼葛のほうの人くらいでないと困難です。飛行機や新幹線に乗って帰る人などは春休みと夏休み、冬休みの年3回というところでしょう。そのほかにも、ゴールデンウィークや2月の温習日（入試のため一週間くらい休みになる）にはほとんどの人が家に帰ります。8月1日～31日と年末年始はホームが閉鎖され（ホストさんのお休み）みんな（海外の人も）故郷へ帰ります。故郷へ帰ったら懐かしい中学時代の友達と戯れるのもいいかもしれませんが（3年になるとみんな受験があるのでなかなか遊んでもらえない）。床屋に行くために帰る、という人もいます。

Q： お金はひと月にどのくらいかかるんですか？

A： この質問、父母の方は聞きたいところかもしれませんが、はっきり言ってしまうと、「ひと月の小遣い3万円で作るのは、結構タイヘン」。お金は遣い方に気をつけましょう。細かい計算をすればすぐわかるのですが、昼食（学食）が1日に400円とすれば25日で1万円。これだけでも過ごせるけれど、みんな牛乳飲んだりお茶買ってきたりするでしょう。牛乳ひと月10本、ウーロン茶を5本買えば3,500円。日曜の食事が3食で1,500円（外食だから、これもけっこう難しい）とすると5日で7,500円。これだけで（しかもすべて飲食費）で、軽く2万円を超えてしまいます。パン1個100円とは言え、毎日食べれば3,000円。その外にも、月に1枚くらいは誰でもCD買ったりするし、熊谷まで映画を見に行ったりすれば電車賃を含めて3,000円くらいかかります。東京往復しても（東京自由きっぷを買うとちょっと割安になる）3,000円。

消耗品（シャンプーや文房具、ノート、電池など）も買わなくちゃいけないし、部活で部費とられたりもします。ぜいたくなものに出費をしなくても、3万円はすぐになくなってしまいます。もちろん、これ以外に電気代を含めたホーム費がかかるので、みなさんも無駄遣いはあまりしないようにしましょう。1ヵ月の小遣いの平均は33,000円くらいです（確実な統計はとっていませんが・・・）。

Q： 新入生としたらどんなことに気を付けたらいいのですか？

A： この質問には、「どんな新入生がイヤですか？」と2・3年生に聞いてみました。

「こんな新入生はイヤ」

第1位 風呂が長い

やっぱり、後がつかえちゃうから……。集団生活だから、やっぱり他人には気を遣いましょう。特に、風呂は時間が決まっているしねえ。一人12～3分で。

第2位 TV独占

共同のテレビをずっと一人で見てる人。電気代のこともあるし、できれば遠慮したい。まして、共用のエアコンなんか一人の時はつかうなよ～！

第3位 愛想悪い

何度も言うようだけど、ここは集団生活の場です！ お互いの人間関係を良くしてこそ楽しい生活が送れる。話しかけられたら、愛想よくしよう！

どうですか？ 参考になったと思います。これに気をつけてくださいね。

Q： ほかに、必要なものはないですか？ 病気になったときとか……。

A： 軽い風邪くらいなら風邪薬を買ってくればなんとかなりますが、病院にいかななくてはならない時は保険証が必要です。みなさんの場合は「遠隔地被保険者証」をとる必要があります。これは、住民票をホームに移さないととれない場合があります。詳しいことは、役所などで聞いてください。それから、お金の仕送りについては、やはり郵便局が便利です。本庄市内にも、何箇所かCDがあり、休日も北口の本局で引き出すことができます。銀行なら、南口のCDが夜9時まで使える、埼玉りそな銀行が便利でしょう。いずれにしろ現金書留よりはいいでしょう。

Q： 特別に禁止されていることとかはありますか？

A： 当然ですが、飲酒、喫煙は禁止です。ニコチン中毒・アルコール中毒を自認する人は、依存症を治してからホームに入ってください（そんな人はいないか）。あと、それ以外には特別に「麻雀禁止」というルールが全ホームに共通してあります。「麻雀」は勉強の大敵で他の人に大迷惑です。絶対しなごう。

Q： （親から）ホームへ電話をかけたけど、誰もでない……。

A： 一年生！ 怠慢にならずにすぐ電話にでましょう。特に部屋が電話に近い人。ホームの場合、30回ベルを鳴らしてやっと誰か部屋から出てくる、なんてこともザラです。ホームへ電話する親御さんは、がんばってベルを鳴らしてください。何回もベルを鳴らした時には「お待たせしました。ホームです」と言いましょ。しかし、前述のように、取り外したホームもあります。

Q： 八高線の最寄駅はどこですか？

A： 松久駅。本庄寄居線を美里町方面へ行きます。無人駅らしい。ちなみに寄居駅・松久駅からも通学バスが出ています。

Q： 部活動みんなしていますか？

A： ホームに入って部活をしないなんて！ 時間がありあまるホーム生活、みんな部活に勤しんでいます。

（完）

おへやはこんなカンジです。3年K君のおへや

ふとんはたまには干した方がいいかも。

ベッド下も工夫次第で収納スペースになるかも。

押入れ半間ついていることが多い。カーペットは切って。

ドアが外開きか内開きかも重要。

部屋にいるとき、スリッパは廊下に出しておこう。

かべは結構ウスイ。話し声は隣に聞こえる。
音楽はできるだけヘッドホーンで。

参考書は先輩のお奨めを聞くといいよ。もしかしたらくれるかも。

掛け時計かべに穴をあけないようにしよう。

カレンダー

廊下側

*これは、かなりシンプルな例で、みんなもっとモノがあるけれど、最初は最低限のものから Start して、必要に応じて買い足していくのが、かしこいやりかたですね。

ミニコンポなんかも入れとくといいね。

ごみばこも。

エアコンの下にベッドがあると床まで風が届かないんだ。

カーテンは窓枠を測ってから買おう。

めざまし

いす

机

鏡